

# JA全農 WEEKLY

2面

## アブダビ国営石油会社に感謝状を贈呈

LPガス輸入40年、400万トン記念し菅野会長ら訪問(総合エネルギー部)

6-7面



農水省と厚労省の食堂で福島県産食材と特産品をPR(4面)



愛媛のかんきつをPRする「みかん電車」が4月まで運行中(8面)



アブダビ国営石油会社に感謝状を贈る全農の菅野会長と尾本常務(2面)

相次ぐ「食料への権利都市」宣言

食料への権利と農業(5) 時事通信社ロンドン支局記者 菅正治

2 「史上初の肉祭り!」で農畜産物をPR(富山県本部)

3 米のWEB出荷契約の実証試験を拡大(米穀部)

「学ぼう!! 持続可能な農業キャンペーン」開催(岡山県本部・広島県本部)

4 農水省と厚労省の食堂で福島県産をPR(福島県本部)

第40回全農酪農経営体験発表会を開催(酪農部)

5 JAズームイン(JA梨北・山梨)

8 「みかん電車」で愛媛のかんきつPR(愛媛県本部)

「NHK歳末たすけあい」に寄付(広報・調査部)

JAタウンショップ紹介  
JA熊本市オンラインショップ

Web版JA全農ウィークリーはこちら



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

Web限定

プロバスケット「秋田ノーザンハピネッツ」へ「サキホコレ」贈呈(秋田県本部)

News!



## アブダビ国営石油会社に感謝状を贈呈

LPガス輸入40年、400万トンの記念し菅野会長ら訪問

総合エネルギー部

左からアドノックのブルーキー担当、モファット・トレーディング部長、カシミ担当課長、全農の菅野会長、尾本常務



全農はアラブ首長国連邦の一つ、アブダビ首長国からLPガスを直接輸入して約40年になります。累計契約数量が400万トンに達したことを記念して、菅野幸雄会長らが2022年11月23日、同国を訪問し、アドノック（アブダビ国営石油会社）に感謝状を贈呈しました。

全農は1983年の坂出 LPガス輸入基地（香川県坂出市）完成に合わせて、アブダビ首長国やサウジアラビア王国の国営石油会社とLPガスの売買契約を締結し、直接輸入をしています。LPガスは二酸化炭素排出量が少ないクリーンなエネルギーで、可搬性のある分散型エネルギーであることから災害にも強く、生活・営農用燃料として使用されています。

アブダビ首長国を訪問した菅野会長は、アドノックに対して約40年にわたる安定的なLPガスの供給に感謝するとともに、今後の友好的な取引関係の継続と、安定供給の継続を要請し、感謝状を贈呈しました。

News!



## 「史上初の肉祭り！」で農畜産物をPR

とやま和牛「酒粕育ち」「とやまポーク」売り込む

富山県本部



とやま和牛「酒粕育ち」や「とやまポーク」の精肉などを買求める来場客

イベントでは、とやま和牛「酒粕育ち」や「とやまポーク」の精肉、県産牛豚肉を使用した冷凍加工品や県内飲食店が手掛けた「酒粕育ち」の弁当・総菜を販売しました。イトインコナーを設け、「酒粕育ち」の牛串焼きや県産牛コロツケ、「とやまポーク」のヒレカツなどを楽しんでいた来場客に県産牛豚肉の魅力を存分にPRしました。



大行列ができたニンジン詰め放題ブース

特別企画として、富山県の全国無料宅配受け付けやニンジン詰め放題、ステーションでは、FMとやまパソナリテイの廣川奈美子さんによるブースPRや、東京の戸板女子短期大学の学生による無洗米を使ったダイエトリシピの紹介などを実施し、会場を盛り上げました。

同本部では、今後も県産農畜産物のPRと消費拡大に取り組んでいきます。

富山県本部は2022年11月26日、富山市のグランプラザ広場で7月にデビューした新ブランドとやま和牛「酒粕育ち」や「とやまポーク」をはじめ、富山米や県産野菜などを販売する初のイベント「史上初の肉祭り！」を開催しました。



# 米のWEB出荷契約の実証試験を拡大

## スマホ版システムも追加、県域・JA向けに説明会

米穀部

WEB出荷契約システム(スマホ版)

No	契約状況	年度	品種	栽培品別区分	品種
1	管理者承認済	令和4年度	主食もち		こがねもち (3015)
2	管理者承認済	令和4年度	主食うるち		ひとめぼれ (0430)
3	管理者承認済	令和4年度	主食うるち		あきたこまち (0344)
4	出荷申込中	令和4年度	主食うるち		コシヒカリ (0049)
5	管理者承認済	令和4年度	主食うるち		ササニシキ (0060)

WEB出荷契約システムは、生産者がスマホやパソコンで契約書を確認して出荷数量を入力、JA側で数量を承認すると契約が締結される仕組みです。操作が慣れない生産者には、JA担当者が入力作業をフォローするなどして紙での事務作業を大幅に軽減するものです。

22年の4県4JAでの実証試験を踏まえ、23年はスマホ版を追加し、20JAを目標に実証試験を拡大していく方針です。

22年12月上旬、県域担当者を対象に同システムの説明会を開き、各県域に対し、JAへの導入推進と、出荷契約情報などを管理している電算センターなどにデータの提供の協力を求めるなど、導入に必要な準備を依頼しました。

全農は、米のWEB出荷契約システムの導入に向けて、JAでの実証試験を2023年に拡大します。パソコン版の機能に加えて、22年の実証試験で要望の多かったスマホ版を新たに実装し、より使いやすくなりました。

本年1月27、31日にJA向けの説明会をオンラインで開催します。実証試験参加JAが対象ですが、導入に関心のあるJAの参加も歓迎しています。詳細は各県域本部の米穀担当者までご相談ください。



# 「学ぼう!! 持続可能な農業キャンペーン」開催

## 岡山県本部と広島県本部がコラボ、Instagramで発信

岡山県本部・広島県本部



学ぼう!!持続可能な農業キャンペーン(岡山版)

岡山県本部では、「里海」である瀬戸内海で育てられた力キの殻を有効利用する地域循環環境保全型事業「瀬戸内かきからアグリ」を展開。一方、広島県本部では、畜産堆肥や飼料用作物の活用による「耕畜連携」を広げる活動「3-R(さん・あーる)」に取り組んでいます。

本部のInstagramアカウントで持続可能な開発目標(SDGs)に関するクイズを出題。クイズに答えた人の中から、抽選で合計40人に、瀬戸内かきからアグリ事業の一環で作られた「里海シリーズ」商品や、耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」商品をプレゼントしました。

岡山県本部と広島県本部は2022年12月1~28日、循環型農業に積極的に取り組む両県の特徴を生かし、Instagramを活用したコラボキャンペーン「学ぼう!!持続可能な農業キャンペーン」を開催しました。

クイズ形式で楽しみながら両県の取り組みを知ってもらえることができ、参加者からは大変好評でした。

両県本部では、今後も持続可能な農業を目指し、循環型農業を推進していきます。



News!

## 農水省と厚労省の食堂で福島県産をPR

中央官庁職員に期間限定で特産食材メニュー

福島県本部



食堂で福島県産食材をPR

両食堂を運営する株式会社SANKO MARKET（サンコーマーケティングフーズ）から、「食」を通じて福島の農畜産物生産の取り組みを食堂の利用者に知ってもらうことで、復興を応援したい」との要望があり、同社と県本部のコラボイベントが実現しました。

福島県本部は、2022年12月12〜23日、農林水産省内「あふ食堂」と厚生労働省内「笑縁食堂」で、県産ブランド品である「麓山高原豚」や「愛情しいたけ」などを使用したメニューを提供するイベントを開催しました。



福島県産食材を使用したメニュー看板

豚丼やソースカツ丼、「愛情しいたけ」などを使った「しいたけと葱のポン酢和え」といったメニューを提供。食堂は連日大変なにぎわいを見せ、利用者はメニューを通じて福島の意味を十分に堪能している様子でした。また、福島の冬の風物詩であり誕生から昨年で100年を迎えた「あんぼ柿」も食堂内で販売し、イベントに彩りを添えました。

News!

## 「第40回全農酪農経営体験発表会」を開催

6戸が発表、最優秀賞に北海道・浦部雄一さん

酪農部



前列右から発表者の桐原将文さん(熊本)、広野豊さん(香川)、佐久間哲次さん(福島)、石原玄明さん(群馬)、福田努さん(神奈川)、高橋裕人さん(北海道)と特別講演者の柴田瑞穂さん(秋田)、知久久利子さん(千葉)

全農は2022年11月25日、第40回全農酪農経営体験発表会・表彰式を開催しました。酪農経営の安定と発展に寄与することを目的に、6戸の酪農家が優れた経営や技術など自身の体験を発表しました。今回は、東京・大手町の日経ホールで開催とYouTube配信を併用して開きました。

最優秀賞には高い収益性や技術成績を上げながらワークライフバランスもとれ、経営の安定性・持続性にも優れていると評価された北海道の浦部雄一さん(発表はJ A道東あさひ・高橋裕人さん)が選ばれました。また、大都会の中で酪農経営を守りながら、酪農や食と命の大切さを移動動物園という形で地域住民や子供たちに普及啓発している神奈川県福田努さんが、審査員特別賞「大都会のうしやさん賞」を受賞しました。

今回は第40回記念企画として「10年後の自分へ、10年後の未来へ」をテーマに、6人の発表者に加え、第32回発表会で最優秀賞を受賞した秋田県の柴田瑞穂さんと特別賞を受賞した千葉県の知久久利子さんが特別講演者として未来への目標や抱負を語りました。



# 山梨のブランド「梨北米」を育む

## 「安全」「安心」で日本一の産地を目指す

清流水や長い日照時間  
恵まれた気候を生かす

山梨県のJA梨北は甲府盆地北西部の八ヶ岳南麓に

位置し、韮崎市・北杜市・甲斐市の一部(旧双葉町)を管轄エリアとしています。ノーベル医学・生理学賞を受賞された大村智博士のふるさとです。山梨のブランド「梨北米」をはじめ、果樹・野菜・甲州牛など、多彩な農畜産物を生産しています。

に恵まれています。こうした地の利が育んだ米が「梨北米」です。

幻の米「農林48号」  
「おにぎりの神」と評判

「梨北米」は日本穀物検定協会による米の食味ランキ



山梨のブランド「梨北米」

JA管内は「日本名水百選」に選ばれた名水の里を擁し、南アルプスの清流水が流れる自然豊かな環境です。北杜市明野町は、日照時間の長さ日本一を誇るなど、安定した気候



「梨北米」を長崎幸太郎県知事(左)に贈呈する小池啓代表理事組合長

### JA梨北(山梨県)



概要	(2022年1月31日現在)
正組合員数	1万1277人
准組合員数	4055人
職員数	232人
販売品取扱高	39億円
購買品取扱高	31億2000万円
貯金残高	1020億2000万円
長期共済保有高	3257億8000万円
主な農畜産物	水稻、果実、野菜、畜産

ングで通算10回「特A」を受賞し、2008年には「日本一おいしいお米」に選ばれるなど、良食味のブランドで知られています。また、生産量が少なく全国に出回らないため、幻の米と呼ばれる「農林48号」は、SNS(交流サイト)で「おにぎりの神降臨!!」と呼ばれ、冷めてもおいしい米と称賛されました。「梨北信玄米」は、農林水産省の特別栽培農産物表示ガイドラインに準い、化学肥料・農薬の使用を基準値の50%以下で栽培した「安全」「安心」な米です。

集荷量や品種構成  
卸業者にも応える

21年(令和3年)産米は、品質では1等比率(A1等・



1等)91・5%と高品質米となりました。米の販売環境は厳しい状況が続いていますが、卸業者に対応する集荷量の確保や品種構成を固りながら「梨北米」産地を維持しています。

恵まれた水と日照時間で育つ「梨北米」

# 英国で急増するフードバンク

## 需要に供給が追いつかない事態

## 相次ぐ「食料への権利都市」宣言

時事通信社ロンドン支局記者 菅正治



「英国の食は脅かされている」と訴えるNFU首脳ら（NFU提供）

現地事例や識者の見解をもとに、「食料への権利と農業」には何が必要かを考えるシリーズ。第5回は時事通信社ロンドン支局記者の菅正治さんが英国で増えるフードバンクと食料の安定供給の課題を報告します。

### インフレで食料供給に不安 資材高騰が農家を直撃

記録的な物価高に見舞われる英国では、国民への食料供給に不安が広がっています。値上がりする食料が買えなくなり、生活困窮者を支援するフードバンクからの提供に頼る人が急増しているのです。資材価格の高騰は農家を直撃し、一部の農産物の生産が足り

なくなる事態も生じており、国内最大の農業団体「ナショナル・ファーマーズ・ユニオン」（NFU）は「英国の食は脅かされている」と危機感をあらわにします。世界有数の経済大国でありながら、「食料への権利」は大きく揺らいでいます。

フードバンクは通常、3食分を1セットとして配布されます。英国で1200以上のフードバンクを支援す

る「トラッセル・トラスト」の調査によると、新型コロナウイルスに見舞われた2020年度には、グループのフードバンクが供給した食料は254万セットと、5年間で2・3倍に拡大しました。物価上昇率が年10%を超え、「生活費危機」が叫ばれる22年は、この時を上回る過去最高のペースで増えています。フードバンクの需要に供給が追いつかない事態に初めて陥ったという事です。

猛烈なインフレは、ロシアによるウクライナ侵攻や、欧州連合（EU）からの離脱による人手不足が大きな要因です。この1年で20〜30%も値上がりする食品も少なくないため、必要な量を買うことができず、フードバンクに頼らざるを得ないのです。トラッセル・トラストは「適切な支援と十分な収入があれば、人々がフードバンクに頼る必要はなくなる」と、政府の対応を強く求めています。

NFUは、フードバンクに多くの農



産物を寄付した農家を表彰するなど、活動を側面支援してきました。しかし、最近では農業生産そのものが危機に瀕していると言われます。飼料やエネルギー価格の高騰に加え、鳥インフルエンザも直撃した養鶏農家が特に深刻で、スーパーマーケットでは卵不足が生じています。NFUは12月上旬に緊急記者会見を行い、卵だけでなく野菜や果物の生産も厳しさを増していると明らかにした上で、「食料危機が悪化するのを懸念している。政府は明日ではなく今すぐ行動すべきだ」と強く訴えました。

## 緊縮財政で貧富の差が拡大 「食料への権利」求めデモも

約32万人が暮らすロンドン南部のラ



食料の寄付を募るスーパーに設けられたフードバンクポスト

ンベス区は22年10月、区議会の議決により、「食料への権利都市」になると宣言しました。フードバンクの利用が増えるなど、住民の「食料への権利」が脅かされているとして、問題解決に向けた取り組みを強化するのが狙いです。英政府に対し、立法措置を講じて英国全体で対策を進めることも要請しました。

労働党のデイクソン区議によると、10年以降の保守党政権下で緊縮財政政策が採られてきた結果、貧富の差が拡大し、十分な食料を確保できなくなった人が増えてきました。これまで必要なかった

たフードバンクが次々と創設され、20年には区内の主要な四つのフードバンクから約4万セットの食料が供給され、そのうち4割近くは子ども向けだったということです。

英国では、リバプールが21年1月に初めて「食料への権利都市」を宣言し、マンチェスターやニューカッスル、ポーツマス、バーミンガムなども追随しました。労働党のバーン下院議員は「英国では1100万人が食料不足に見



「食料への権利都市」を宣言したランベス区

舞われている。誤った政治的選択の結果だ」と、保守党政権の失政だと批判します。

労働党は敗北した19年の総選挙の公約で、政権を奪取すれば、新法を制定し、すべての英国民に食料への権利を保障すると宣言しました。権利侵害に対する救済措置を導入するほか、「国家食料委員会」を設立した上で、国内に飢餓や食料不安が生じていないかを監視し、問題があれば関係省



トラクターに乗って「食料への権利を立法化せよ」と訴える有機農家(ランドワーカーズ・アライアンス提供)

庁に対応を勧告するということです。地産地消を推進し、地域ごとに食料システムを強化することも打ち出しました。

小規模農家らでつくる「ランドワーカーズ・アライアンス」や有機農家らはこうした動きを歓迎し、後押ししています。22年10月にはロンドンの官庁街で数百人規模のデモを行い、「食料への権利を立法化せよ」「予算や支援の拡充を」などと訴えました。

# 「みかん電車」で愛媛のかんきつPR

## 期間限定デザインで4月の「オレンジデー」まで運行

愛媛県本部は4月14日の「オレンジデー」まで、伊予鉄道の路面電車「みかん電車」を期間限定デザインにリニューアルして運行しています。【愛媛県本部】

「みかん電車」は、2020年度から県本部が「バレンタインデー」や「ホワイトデー」に続くカップルの記念日として提唱する「オレンジデー」をPRするため、期間限定で実施してきました。SNS(交流サイト)などでの反響を受け、22年4月から(株)伊予鉄グループが道後温泉駅—松山市駅またはJR松山駅

間を通年運行しています。今回「オレンジデー」に合わせてリニューアルし、車両デザインやつり革の一部に県イメージアップキャラクター「みきゃん」を使用するとともに、天井を「愛媛みかん」の写真で埋め尽くすなど、従来のデザインからさらにミカン一色に飾り付け、県産かんきつをPRしています。

また、「だいすき!えひめのみかん」をテーマにした絵画コンクールの最優秀・優秀作品を期間限定で「みかん電車」内に展示します。



ポスターやつり革、天井までミカンと「みきゃん」尽くしの車内

# 「NHK歳末たすけあい」に寄付

募金総額は  
334万円

全農は2022年12月22日、東京都渋谷区のNHK放送センターで、「NHK歳末たすけあい」の贈呈式を行い、募金の目録を贈りました。【広報・調査部】

全農は社会貢献活動の一環として、イベントの売上金などを毎年寄付しています。今回は、各都府県本部が直営店舗・職場・事業所などに共同募金箱を設置して集めた募金も合わせ、334万6044円となりました。

募金は共同募金会を通じて、国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられます。



左から東京共同募金会の加納高仁常務理事、NHKの前田晃伸会長、全農の菅野幸雄会長、NHKの熊埜御堂朋子理事

JA全農のインターネットショッピングモール  
JAタウン ショップ紹介

## JA熊本市オンラインショップ

「ゆうべに」は2015年に誕生した熊本県オリジナル品種のイチゴです。華やかさと上品さをイメージして、熊本の「熊」とイチゴの「紅色」を合わせて名付けられました。

その名のとおり鮮やかな紅色の果実は、甘みと酸味のバランスが絶妙で、フレッシュな果汁と芳醇な香り(ほうじゆん)が特徴です。今回の「ゆうべに」は大玉サイズを厳選しており、食べ応えも抜群。ぜひ一度ご賞味ください。



【甘い香りとたっぷり果汁】熊本のイチゴ「ゆうべに」2L~3Lサイズ(8~14玉)2パック入り……3500円(税込み)

ご注文はこちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>  
▶ お問い合わせは [shop@ja-town1.com](mailto:shop@ja-town1.com)

